

自昭和七年一月  
至昭和七年十二月

# 道路の改良

第十四卷

# 道路の改良第十四卷總目錄

(自昭和七年十二月  
至昭和七年十二月)

口 繪

日向國高千穂の鹿狩戶橋

君ヶ代橋・聖石橋 (群馬縣)

竣功せる筑後川橋

竣功せる會津の高田橋

竣功せる瀬高橋 (福岡縣)

竣功せる十三大橋 (大阪府)

函嶺洞門 (神奈川縣)

竣功せる豆津橋 (福岡縣)

竣功せる國道第二號線 (廣島縣)

竣功せる徳島小松島間道路 (徳島縣)

開通せる水府橋 (茨城縣)

新式照明の上野橋 (京都府)

淀大橋の偉容 (京都府)

號數

一 一 二 三 三 三 四 五 六 六 七 七 七

竣功せる橋橋（宮崎縣）

阿武隈橋（宮城縣）・北利根橋（茨城縣）

黒熊橋（島根縣）・鳥羽大橋（京都府）

仙鹽道路（宮城縣）・手取川橋（石川縣）

熱海時箱根間自動車専用道路

高宮橋（滋賀縣）

雄楚な永安橋（岡山縣）

卷頭言

論說

迎年の辭

水野鍊太郎

號數  
一

頁數  
三

十二九八七六五四三二一

十二

十一

十一

十

九

九

八

自動車道路の築造に就て	省營自動車論ず	自動車交通網の完成に就て	道路に對する根本計畫樹立に就ての私見	風景地に於ける道路の功罪	道路改良と其の經濟的根據	古代都市の道路計畫	自動車交通の發展に就て	滿洲新國家と道路	滿洲國に於ける道路の開發	道路省を設けては如何	道路問題を鳥瞰して其の施設を論ず	農村道路論	地方道路に並木植栽を提唱す	道路に關する所感の一二	社會生活と道路	國立公園と道路の問題
-------------	---------	--------------	--------------------	--------------	--------------	-----------	-------------	----------	--------------	------------	------------------	-------	---------------	-------------	---------	------------

榎崎 敏雄	久保田 敬一	中川 正左	前川 貫一	田村 剛	増井 幸雄	野村兼太郎	榎崎 敏雄	長岡 外史	寛正 太郎	田川大吉郎	藤原 俊雄	榎崎 敏雄	三浦伊八郎	大口 喜六	野村兼太郎	田村 剛
—	—	—	—	—	二	二	三	四	四	五	五	六	七	七	七	八
一一	二〇	三〇	三四	四〇	三	一三	三	三	九	三	九	三	三	七	一一	三

農村振興土木事業に就て

道路政策の轉向

農村と道路問題

都會と道路

道路改良公債を本とし一般公債事業に就て

說苑

道路 小觀

日本の道路計畫の一部として

道路・郵政及新聞の三位一體

元地方幹事齋藤英夫君の永眠

附 大和川畔の地江

時論

道路改良費の財源を確立せよ

地方道路の舗装に對する助成を要望す

農村救済策として府縣道を改良せよ

農村振興土木事業の執行に付町村長各位に望む

唐澤俊樹 九三

榎崎敏雄 九一三

藤原俊雄 十三

野村兼太郎 十一三

田川大吉郎 十二三

太田正孝 一五〇

田川大吉郎 一五四

長谷川久一 一六一

田中好 四三七

丹波浪人 一六六

吉岡計之助 二二一

田中好 七二一

田中好 九二五

路政閑話

——外國新聞切抜帳から——

自動車運送より觀たる橋梁・道路の構造

道路交通史上より見たる江戸日本橋の地位

都市計畫の本質

英國道路交通法

大京都の都市建設に就て

交通流學に就て

明治・大正時代に於ける内務省直轄道路橋梁工事に就て

宿場役人に就て（五、六、七、八、九）

武井群嗣

三一

一六九  
一七

菅健次郎

五四三二一

二二六二七  
〇二一四八

和田篤憲

一

八四

榎木寛之

一

九七

増田甲子七

九四二一

三  
四一四六九  
四八

高田景

二

四〇

藤井眞透

三

二七

池本泰兒

三

三八

和田篤憲

九七四三二

三二二五三  
三二九八三

道路交通史の資料としての中山道馬籠宿の記述に就て

——鳥崎藤村氏作「夜明け前第一部」の史料價值——

自動車運送と道路の材料

併用軌道の過當なる義務負擔に就て

關所と女

相武間の交通狀態沿革を論じて大東京實現に對する善後措置に及ぶ

公營土木事業の合理化

吾が國都市の沿革に就て

宇治茶壺の道中に就て

明治初年に於ける旅宿組合に就て

自動車の道路損傷に就て

砂利道に於ける交通量と砂利撒布量との關係に就て

技 術

コンクリート工事の合理化

舗裝撰定の基本に就て

和 田 篤 憲	六	一八
菅 健 次 郎	六	一〇
多 田 純 三	七	四一
和 田 篤 憲	八	一三
長 谷 川 久 一	九	二九
岡 崎 早 太 郎	十	一一
池 本 泰 兒	十一	一三
和 田 篤 憲	十一	三二
和 田 篤 憲	十二	一一
菅 健 次 郎	十二	二九
中 末 郁 二	十二	三八
宮 本 武 之 輔	一	〇九
藤 井 眞 透	一	二二

瀝青乳劑の二種類の區別に就て

連續桁の計算

結構の部材斷面形と銲接

舗装道路維持修繕と東京府の組織現狀

Roofing Grillage の設計に就て

鐵道省に於ける土質調査の方法

自轉車道の施設を提唱す

コンクリート舗装床版の設計其他に關して

セメントの化學的抵抗性に就て(六、七、八、完)

構造物の實驗解法(六、七、八、九、十、十一)

路面混合式瀝青質簡易舗装の比較研究

築堤下暗渠縱彎曲に關する一解法

西川 榮三

一 一三六

大野 博

一 一四五  
一 一七九  
一 六一

青木 楠男

一 一六二

折坂理五郎

一 一七九

石川 時信

一 一九一

野坂 孝忠

一 二〇八

江守 保平

一 二三三

中島 時雄

二 六〇

西川 榮三

二 八五  
二 九八  
三 五五  
三 六五

青木 楠男

三 四六  
三 四七  
四 二七  
四 三六  
五 六一  
五 九一

山田 元

四 四〇

石川 時信

四 五六



鋪裝の力學式と混凝土鋪裝

高架式架構に對する撓角撓度の擴張

コンクリートの密度に就て

鑄接及切斷用語 (鑄接研究會選)

コンクリートの基礎を有する瀝青乳劑塗裝道

米國の道路に對する觀察

混凝土鋪裝用粗骨材に就て

トラスマカダムに就て — 石灰と火山灰を使ふ簡易鋪裝 —

非對稱築堤下暗渠縱彎曲に關する一解法

シート・アスファルト鋪裝混合物の設計

瀝青質材料の比重及其他の性質

彈性的支柱に依りて支持せらるゝ連續桁の一解法に就て

瀝青質混合物の比重、空隙率及吸水率並瀝青質材料の粘度

彈性床上の桁の彎曲解法の一例

海外道路時事

物	石	西	川	川	西	今	石	山	高	藤	江	青	宮	川	藤
部	川	川	畑	畑	川	川	川	田	田	井	守	木	本	畑	芳
長	時	榮	榮	榮	榮	豐	時	元	昭	真	保	楠	武	之	義
穂	信	三	三	篤	三	二	信	元	昭	透	平	男	輔	篤	男
	十一	十一	十一	十	十九	八	八	八	七	七	六	六	六	五	四
	八〇	五七	五九	六五	五〇	五五	二六	二一	七四	四八	六五	四二	三二	七六	七二
	五	四	三	二	一										
	八	七	〇	五	九										

東海道行脚(十三)

史料

英國道路物語

— 道路發達史 —

談叢

外客誘致と道路の清潔

資料

田中好

山下定文

新井堯爾

十一  
二一九八七六

七〇八九七八七  
八二五九〇一二

十一  
二一九八七六五三二一

一五六五二三二一〇六  
九六五三一五七二三六

一  
四七



新刊紹介

道路の建設改良及保守と自動車税

Reflecting Button

十二回國際聯盟總會に於ける報告

橋樑改築工事概要

田中事務官の府縣道改良論を讀む

道路改良費は何處へ行く

停車しない地下急行電車

コンクリート及膠石試驗鋪裝報告

近代道路の防險柵

次の國際道路會議の議題の決定

東京市域擴張に伴ふ道路管理の問題

空襲と大阪地下鐵

漫 錄

河童の寢言

内務省土木局長の異動

田中好四 八九

菅健次郎 五二八

井口眞造 五二四

一記者 七一

山田一 八一〇

岸田正一 八一九

伊藤大三 八一三六

田川大吉郎 九一四六

坂本一平 九一五〇

井口眞造 十一四四

藤井眞透 十一〇八

高澤義智 十二一〇八

橋本敬之 十二一五

川野義士 一三二一

路政僧 一三二四

清水君を送つて

道路工事雜感

異動した府縣土木部課長評

旅人西行の心境

土木主任官會議を覗いて

政友會内閣末期に甦つた村山さん

道路に關することを

時局匡救豫算の生れるまで

送湯澤氏・迎唐澤氏

六十二議會を覗いて

農村振興策を議する内務部長土木部課長會議を覗いて

東京土木出張所を觀て

コ  
シ  
ツ  
フ

丹波浪人

二一四三

楠宗道

二一五六

路政僧

三一五九

長谷川久一

六一七八

路政僧

六一〇二

一記者

六一〇二

池本泰兒

二一四六

路政僧

二一四六

丹波浪人

一三六五

路政僧

一三七七

路政僧

一三六五

左右田友三郎

九一四三

巷の塵

丹波浪人

七六四  
一〇八五  
一六六五

寄稿家披露

通信

佐賀・宮崎・大分を視察して

瀧川勸則

四三二  
一六六  
一三七

法令

鐵道省に於て經營する自動車運輸事業と道路との關係に關する道牒

二  
一八〇

質疑應答

藤村藤治

八七六五四二  
一八〇  
一五二  
一六一  
一三五  
一三六  
一三三  
一三七

道路法に依る路線認定處分と行政訴訟

收用審査會の裁決取消の訴

土地收用補償金請求事件

内務省土木出張所名稱及分掌區域中改正

收用審査會の裁決取消の訴・乗合自動車不許可取消の訴・土地收用補償金減額請求事件

八  
一六七

七  
一三八

六  
一五一

時局匡救の爲にする土木事業に關する件.....

九 一七九

時局匡救の爲にする土木事業の執行に關する件・産業振興の目的を以て起興したる土木事業の促進に關する件・府縣道改良工事設計書樣式に關する件・收用審査會の裁決取消の件・收用審査會の裁決に對する不服の訴・自動車運轉營業免許拒否取消請求の訴・道路起業に因る土地所有權妨害排除請求事件

道路占用料増額追徵金取消の訴.....

十 一五五

收用審査會裁決に對する不服の訴

受益者負擔金處分に關する訴.....

十二 一三五

雜報

池田元本會理事の長逝.....

一 三五八

道路改良費國庫補助の決定.....

一 三五八

失業救濟道路工事の確定・無軌條電車敷設經營の認可

産業振興の爲にする土木事業計畫の確定.....

二 一八二

關門間連絡施設速進陳情.....

三 一八九

臨時理事會開催.....

四 一五五

內務省土木出張所長會議.....

五 一六三

四國に於ける本會の講演會

理事會開催

四國土木主任官招待午餐會・本會の新事業の確定

評議員會並定時會員總會

幹事會開催・産業振興土木事業豫算の確定

理事會開催

東京地下鐵道の近況

道路職員講習會

事務打合會・農村振興土木事業費豫算の確定

土木監察官の設置

時局匡救事業視察

四號六號七號八號及九號國道視察・沖理事逝去と敬弔・徳田道路主事赴任

幹事會・國際道路問題調査委員會・内務省所管昭和八年度時局匡救土木費豫算の内容

附  
録

昭和七年度國道及府縣道費豫算調

昭和七年度府縣市町村土木費豫算調

六 一五四

七 一四一

八 一七二

九 一八六

十 一五七

十一 一七二

十二 一三九

七

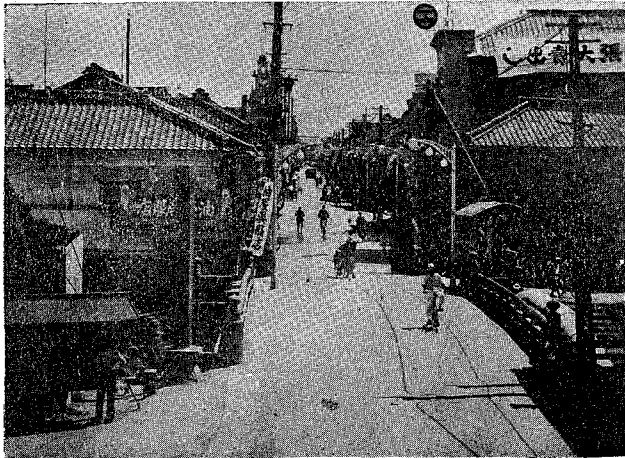
七



簡易舗装

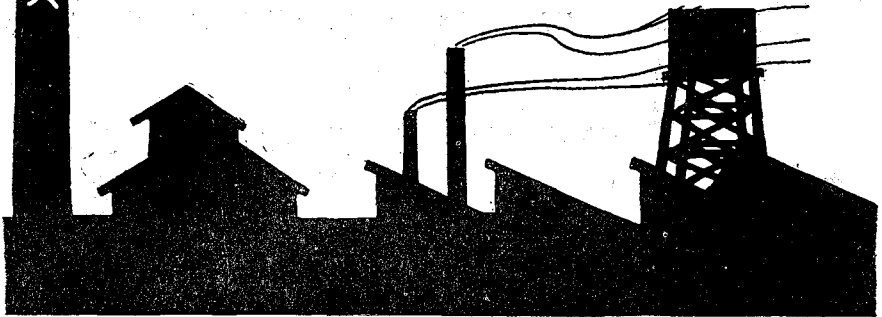
乳剤界の明星

EMULAS



長野縣松本市本町通りエムラス舗装  
昭和六年十一月竣功

エムラス



エムラス道路工業株式會社

東京市向島區吾嬬町西四ノ二四 電話墨田(74)二六三七番

昭和  
七年  
年

十五日  
印

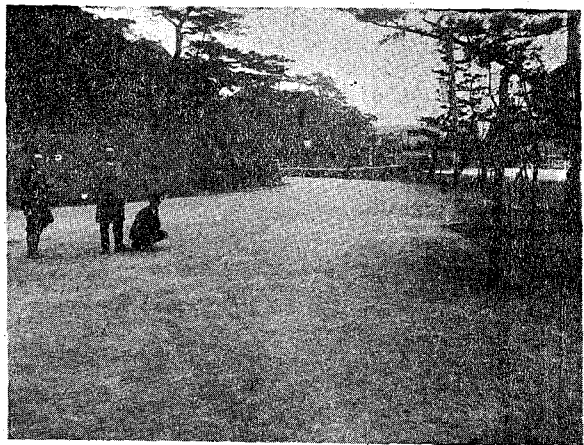
行(毎月一回)  
日發行

# 道路 鋪裝



は

# ビ チ ユ マ ル ス



和歌山縣新和歌浦内地チユマルス鋪裝道路

## 日本ビチユマルス株式會社

本社 東京市丸の内一丁目二番地

仲八號館二階

電話丸ノ内(23)番四七六一

大阪市西區土佐一通一丁目(大同ルビ)

出張所

電話土佐區番三四三三

廣濱市中區天神橋

工場

電話本局番二四一五